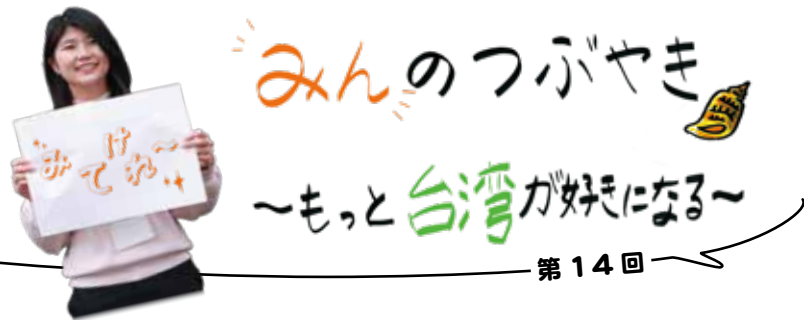




恋しくなるふるさとの味

いきなり私事で大変恐縮ですが、秋田に来て早々新型コロナウイルス感染症がまん延し、世界中に渡航が制限されている状況で、なかなか帰省できませんでしたが、あれよあれよという間に台湾に戻れず2年半が経ち、さすがに懐郷の念に駆られました。家族や友人に会いたい気持ちのほか、ふるさとの味も恋しくてたまらないです。

懐かしい母の味

そこで私は台湾にしばらく戻れないため、子どもの頃から慣れ親しんだ台湾の味を自宅で再現しようと試みました。最初に挑戦したのは「切り干し大根入り卵焼き」です。中国語では「菜脯蛋(ツァイブーダン)」と言います。台湾では切り干し大根は昔ながらの馴染みのある食材の一つで、実家にいるとき母も作ったりしました。

日本のと比べて形や味がやや違いますが、海に隔てられた二つの地で似ている保存食が作られていることはとても興味深いですね。

食材を無駄にしない、食べ物を大切に作る心は海を越えて共通していると感じました。

ミンレシピを皆さんに

今回皆さんに紹介するのは、私が大好きないぶりがっこで代用したふるさとの味のレシピです。いぶりがっこの塩分が調味料代わりになり、また切り干し大根を水で戻す手間を省けて、お手軽に作れますので、ぜひミンレシピをお楽しみください！へばな！

初夏を迎えて暑くなりましたね。どうも台湾出身の仙北市国際交流員の黄敏(ファンミン)です。今回は私が大好きな秋田のいぶりがっこを使って、台湾料理を再現します！レシピを紹介するので、皆さんも試してみてください！

台湾料理レシピ

いぶりがっこ入り 卵焼き (菜脯蛋) ツァイブーダン

材料

- ・いぶりがっこ：50g
- ・卵：3個
- ・小ねぎ：2本
- ・塩：ひとつまみ
- ・白コショウ：ひとつまみ
- ・油：適量

作り方

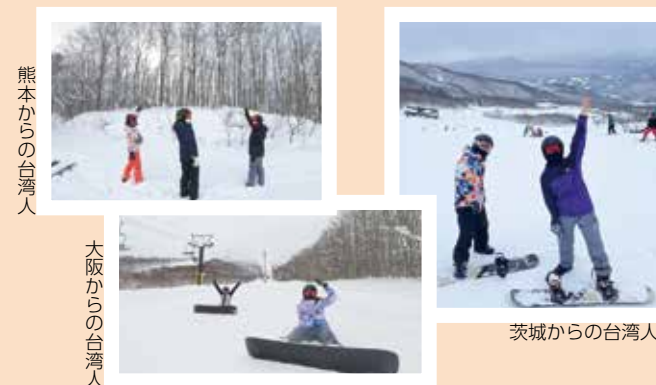
- ①いぶりがっこと小ねぎを小口切りにする。
- ②ボウルに卵を割り入れてほぐし、①の材料と塩、白コショウを合わせて混ぜる。
- ③フライパンで油を熱する。
- ④混ぜた材料をフライパンに入れ、卵が固まったらひっくり返す。
- ⑤十分火が通ったら完成！

※切り干し大根で作る時には塩や醤油など調味料で味を調整してください。



皆さんもぜひお試しください！

ー 今シーズンのスノーボード体験の様子 ー



熊本からの台湾人

大阪からの台湾人

茨城からの台湾人

亜熱帯出身の台湾人、 2回目の雪生活 鐘 偉 倫

皆さま、ご無沙汰です。地域おこし協力隊のシヨウです。仙北市に来て、2回目の雪生活が無事に終わりました。今年は、去年より雪が多く、皆さまも除雪お疲れさまでした。除雪は大変でしたが、私の今シーズンの雪生活も充実しました。

冬の日本の印象として、台湾人は雪をイメージする方が多いです。日本に比べると「台湾では雪が降らないでしょう？」とよく聞かれます。実は台湾でも雪が降ります。冬には標高2000メートルくらいの山で雪が降りますが、それほど積もりません。ちなみに、60年前は台湾の合歡山(最高地点標高は3422メートル)の3000メートルくらいの所にスキー場がありました。

冬の日本の旅行先では、白川郷、北海道(札幌・小樽)、蔵王などが、外国人には人気です。皆さまはウィンタースポーツをするためにどこに行きますか？

外国人がよく知っている日本のスキー場は白馬、蔵王、安比、ニセコ、トマムなどです。残念ながら、たざわ湖スキー場を知っている外国人が少ないことです。実は、私も仙北市に来る前はたざわ湖スキー場を知りませんでした。

ここ5年くらい、台湾でスノーボードが人気になってきています。私は2015年の大阪にいた時もスノーボードをやりたいと思って

いましたが、あの時は学校とアルバイトの両方が忙しくて、結局できませんでした。

昨シーズン、人生初めてのスキー、スノーボードをしました。私は東北で外国人に人気のスキー場の蔵王、安比と比較して、たざわ湖スキー場のグレンデは初心者にとっていい所だと思いました。「もっと、スキーとスノーボードをやりたい人々にたざわ湖スキー場を紹介したい」そう思った私は、今シーズンは在日外国人を誘って、たざわ湖スキー場でスキー、スノーボード体験会を5回開催しました。当初は同じレベルの人を誘って、スノーボード交流会を行いたかったのですが、申し込んだ人はほぼスキーやスノーボード未経験者で予想外でした。

参加者の中で印象に残ったのは、熊本から参加の台湾人のグループです。去年1月から私はYouTubeを始め、ここでの生活や景色などの紹介動画をアップしています。熊本からのグループの中の1人が私のYouTubeをチャンネル登録しており、昨シーズンから、私のスキーやスノーボードの動画を見て、たざわ湖スキー場に滑りに行きたくなったそうです。12月下旬に連絡が来て、2月上旬にたざわ湖スキー場に来ました。熊本から!!すごい行動力!!

参加した皆さんは、仙北市について、スキー場や温泉、宿などについて印象を持っています。スノーボードを体験して、ウィンタースポーツに惹かれた人もおり、今シーズン中に2回来た人もいます。また、「来シーズンの連休は友だちを連れて来る予定にしました」などの感想もいただきました。仙北市を知ってくれる人が少しずつ増えて、本当に嬉しいです。来シーズンはスキー、スノーボード交流会に加え、雪板※遊び体験をしようと考えています。そのために、3月末から仙北市のスキー場跡地など滑れそうなエリアを周っています。シーズン終わりは暖かくなりザラメ雪ですが、新雪を楽しめる来シーズンには雪板に乗るのは面白いコンテンツになるのではないかと感じました。

まもなく仙北市に来て2年になります。知り合いに「感想は？」と聞かれました。一言でいえば、「四季を感じられる所」です。春は花見、夏は水遊び、秋は紅葉、冬は雪遊びがあります。気候や花で四季を感じただけでなく温泉や伝統行事もあります。これから一年を通して仙北市に来てくれる方を増やせるよう頑張ります。

※雪板(ゆきいた)は、ボードに乗って雪上を滑るウィンタースポーツです。スノーボードと違い、ノーヒンディング、ノーエッジのシンプルな板で、サーフィンのように斜面を滑ります。

